

CORPORATE PROFILE



会社案内



# One *Nidec*

私たちニデックグループは、  
コーポレートブランド「Nidec」のもとに、  
グループ企業が一つになり、  
各々の専門性をより高度に融合させていくことで、  
新たな「世界初、世界一」を追求し、  
より豊かでサステナブルな社会の実現に  
貢献していきます。

***Nidec***  
**All for dreams**

コーポレート・スローガン

## **All for dreams**

ニデックグループは、  
コーポレート・スローガン「All for dreams」  
及びニデックグループのアイデンティティと  
ステークホルダーの皆様にご提供する価値を明文化した  
コーポレート・ステートメントを定めています。

コーポレート・ステートメント

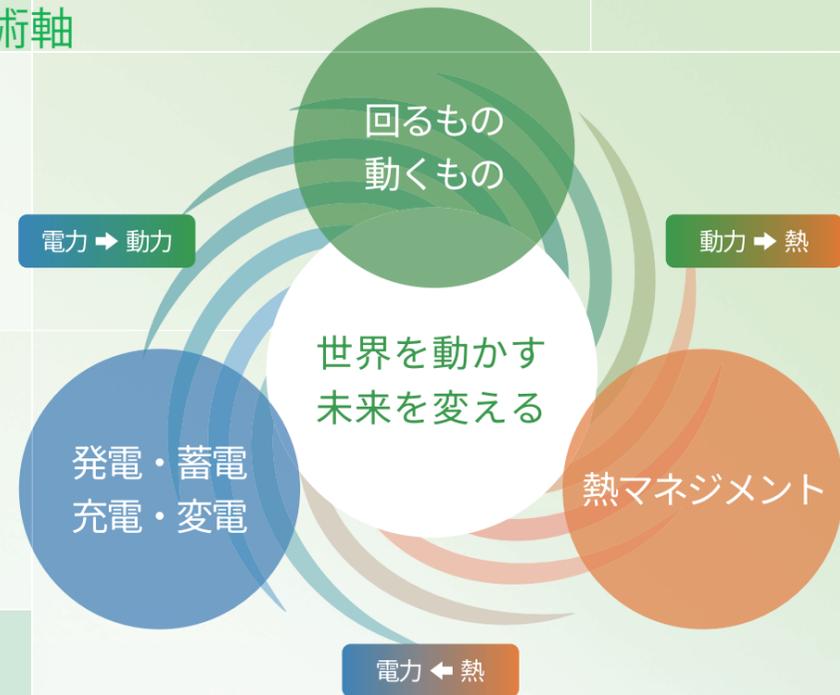
夢は、私たちの原点。  
夢は、私たちのすすむ原動力。  
夢は、私たちのつくる未来。  
世界の夢、人々の夢、そして私たちの夢。  
夢を抱くことから、  
新しい何かを創る情熱や発想が生まれ、  
世にない技術や性能を持った製品が実現できるのです。  
**All for dreams — すべては夢のために**  
時代に夢があるかぎり、  
ニデックグループは挑戦します。  
世界と人々の（今日と）明日のために、  
「世界初」「世界一」を追求する技術と製品で  
快適な社会づくりに貢献をつげます。

創業以来変わらぬ三つの精神を原動力に  
「世界No.1の総合電機メーカー」を目指し  
これからも世界規模での挑戦を続けていきます。



3つのコア技術で、5つの未来を創造する。

3つの技術軸



5つの事業領域

もっと快適なAI社会を

もっと持続可能な  
インフラとエネルギーを

もっと効率的な生産を

もっと豊かな毎日を

もっと移動手段に革新を



ニデックグループ 新企業理念 私たちの使命、そして目指す姿。

**Nidec**  
【企業理念】

社是  
(Policy)

我社は科学・技術・技能の一体化と誠実な心をもって全世界に通じる製品を生産し 社会に貢献すると同時に 会社および全従業員の繁栄を推進することをむねとする。

使命  
(Mission)

世界一高性能なモーターで地球に貢献する  
全社員の弛まざる努力により、当社が世に送り出すモーターを中心とした製品を通じて、地球環境の保全を始めとする様々な課題を解決すると共に世界の人々のより良い生活の実現に貢献する。

目指す姿  
(Vision)

- 100年を超えて成長し続けるグローバル企業
- 人類が抱える多くの課題を解決する世界No.1のソリューション企業集団

価値観  
(Value)

- “Nidec Way” 「挑戦への道」
- ・三大精神「情熱 熱意 執念」/知的ハードワーキング/すぐやる 必ずやる 出来るまでやる」
- ・「創造性/敬意/協働/王道/決断力/チームスピリット/人材育成」

行動規範  
(Discipline)

- 3Q6S
- 社員心得7ヶ条/3P (proactive, professional, productive) の徹底/6悪の排除
- 経営3原則 ■3つの経営基本理念

行動指針  
(Code)

- 三大経営手法 三大経営姿勢 圧勝の3条件
- CSR憲章 (社会的責任・多様性の尊重等)

これまでを誇り、これからを築く。

— 100年を超える革新への道 —

**Nidec**  
All for dreams



50年にわたりNidecは情熱の中で成長してきました。更なる成長を目指し、ステークホルダーの皆様のご期待に応える覚悟をもって、Nidecを次のステージに押し上げていきたいと考えております。

Nidecグループは、創業以来培った「回るもの、動くもの」の技術を核に、熱マネジメント、発電・蓄電・充電・変電を含む3つの技術軸を進化させてきました。これらの技術を基盤に、AI社会を支える冷却技術や電力変換技術、再生可能エネルギーを活用した電力供給システム、産業効率化を促進するロボット用減速機や工作機械、生活の質を向上させるスマート家電や空調機器、電動化・自動化を進める次世代モビリティといった5つの事業柱を展開しています。

私たちの生産拠点は「メイド・イン・マーケット」としてグローバルに展開し、品質、リードタイムを含め、お客様に満足いただけるトータルサービスを提供するとともに、モータだけではなく、制御回路やソフトウェアなどのシステムソリューションにもお客様のニーズに合わせて取り組んでいきます。

また、今年度は新たに新中期経営計画としてConversion2027を掲げ、組織全体の活性化と次世代リーダーの育成加速により、持続的な成長を支える強固な基盤の構築を進めます。この計画のもとオーガニックな成長を追求するとともに高収益体質への転換を目指し、成長と効率を重視した組織の運営を推進してまいります。

「Diversity & Inclusion:異なる意見を共有尊重し合いながら前進すること」「Open & Transparent:自分の強さも弱さもさらけ出して本音で語り合い、補い合うことで真の連携を図ること」を我々のグローバルな行動指針とし、サステナブルな社会を実現するためにより一層の努力と革新を重ね、これからもOne Nidecで力を合わせてチャレンジを継続してまいります。引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員 (CEO)

岸田 光哉

たった4人の夢からはじまった、世界一の総合電機メーカーへの軌跡。

# Nidec - Defined by Our Quest to Be No.1

「One Nidec」のもと、グループの力を結集し、夢に向かって躍動し続けます。



## 1973~

小さなプレハブ小屋からスタートした  
たった4人の大きな夢

1973年7月23日、代表取締役グローバルグループ代表の永守重信(当時28歳)は、「世界一になる!」との思いのもと、仲間3人と京都市西京区に資本金2,000万円で日本電産株式会社を設立しました。精密小型ACモータの製造・販売を開始。単身アメリカへ渡り、飛び込み営業で有力企業を顧客として開拓しました。

- 1973.07 京都市西京区に日本電産株式会社を設立。
- 1973.08 精密小型ACモータの製造・販売を開始。
- 1976.04 米国セントポール市に米国日本電産(株)を設立。



精密小型ACモータ

米国セントポートでの営業活動

## 1980~

HDD用スピンドルモータで世界一に

1981年、米国のパソコン市場の急激な成長を受け、5.25インチハードディスク装置用スピンドルモータの生産を開始。その後、OA機器用精密小型ACモータ、軸流型ブラシレスDCファンを生産。1984年には3.5インチ型ハードディスク装置用スピンドルモータの生産が始動、本格化しました。さらに同年、米国トリントン社の軸流ファン部門を買収し、米国に日本電産トリントン(株)を設立。これが当社の初めてのM&Aとなりました。国内では滋賀、岡山、長野、鳥取に生産拠点を新設。海外ではシンガポール、タイ、台湾、中国、ドイツ、フィリピン等に進出し、一気に京都のベンチャー企業から世界企業へと驚異的な躍進を遂げました。

- 1984.02 米国トリントン市に日本電産トリントン(現ニデックアメリカ(株))を設立。1件目のM&A。
- 1988.11 京都証券取引所並びに大阪証券取引所市場第二部に株式を上場。
- 1994.10 FDB搭載HDD用スピンドルモータの生産を開始。
- 1998.09 東京証券取引所市場第一部上場。



大阪証券取引所上場認定式

トリントン社買収契約に調印



ニューヨーク証券取引所上場  
オープニングベル

## 2000~

事業の多角化とM&Aの積極展開で  
グローバル企業へ大きく飛躍

2001年、ニューヨーク証券取引所に上場。2003年には「本社・中央開発技術研究所」ビルが京都市南区に完成。国内外問わず、積極的なM&Aで世界市場をターゲットに事業展開を進め、精密小型モータ分野では世界のリーディングカンパニーになりました。

- 2001.09 ニューヨーク証券取引所へ上場(2016年5月まで)。
- 2003.05 京都市南区に本社事務所を移転し、中央開発技術研究所を開設。
- 2015.03 売上高1兆円を突破。
- 2017.01 米国エマソン・エレクトリック社のモータ・ドライブ事業及び発電機事業(現ニデックルロア・ソマグループ、ニデックコントロール・テクニクスグループ)を買収。



日本サーボ(株)資本参加

## 2023~

日本電産からニデックへ。  
世界No.1の総合電機メーカー  
として次のステージへ。

世界トップレベルの技術力、開発力、生産力を強みに持つニデックグループは、グループ一体化経営によるシナジー製品の開発や成長戦略を実現させ「世界No.1の総合電機メーカー」を目指していきます。



ニデックとブラジル大手航空機メーカーEmbraer S.A.(エンブラエル)との合併会社の操業開始

- 2019.07 米国ワールブル社(現ニデックグローバル・アプライアンス)を買収。
- 2019.10 オムロンオートモーティブエレクトロニクス株式会社(現ニデックモビリティ(株))を買収。
- 2021.08 三菱重工工作機械株式会社(現ニデックマシンツール(株))を買収。
- 2022.02 OKK株式会社(現ニデックオーケーケー(株))との資本提携契約に基づく第三者割当増資の引き受け完了。
- 2023.04 社名をニデック株式会社に変更。
- 2023.11 株式会社TAKISAWAを買収。
- 2024.04 ニデックモビリティ(株)とニデックエレシス(株)が経営統合。

# One Nidec

## 脱炭素化



電動バイク用モーター



トラクションモーターシステム (E-Axle Gen.3)

## 省人化



工作機械



ロボット用減速機



世界を動かす。未来を変える。

ニデックは人と地球の課題を解決し、豊かな未来を創ります。

## 温暖化 / 省電力化



DCブラシレスモーター



バッテリーエネルギー貯蔵システム (BESS)

## DX化



水冷モジュール



発電用オルタネータ

## Automotive 車載

- ▶ シャーシ用  
(電動パワーステアリング用モーター&ECU、電動ブレーキ用モーター、ABS/ESCモーター等)
- ▶ パワートレイン用  
(EV用トラクションシステム、コントロールバルブ、EV用DC/DCコンバータ等)
- ▶ ボディー用  
(ヘッドアップディスプレイ駆動モーター、冷却用ファン、シート用モーター、サンルーフ用モーター、ボディー ECU、スマートエントリーシステム、パワーウィンドウスイッチ等)



トラクションモーターシステム (E-Axle Gen.3)



電動パワーステアリング用モーターコントロールユニット (コラムタイプ)

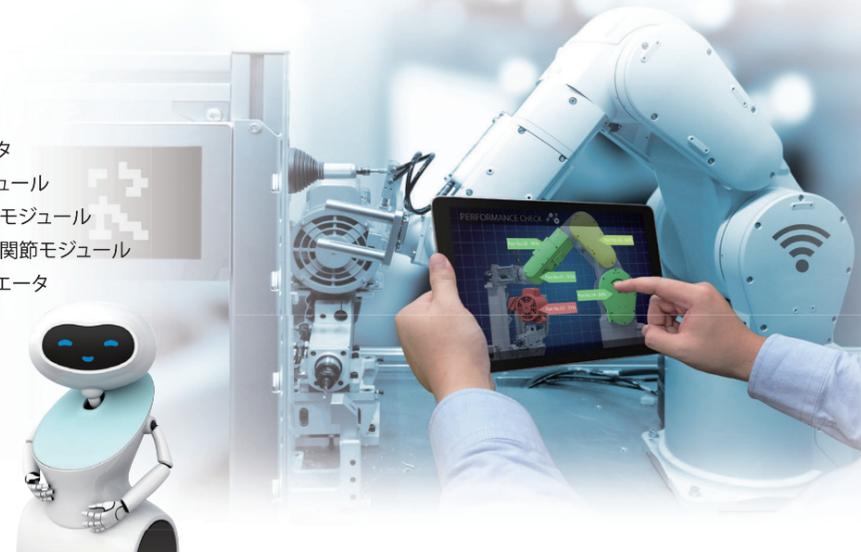


ボディー ECU



## Robotics ロボティクス

- ▶ サービスロボット用モーター
- ▶ ドローン用モーター
- ▶ 減速機
- ▶ カメラモジュール
- ▶ トルクセンサ・6軸力覚センサ
- ▶ ACサーボモーター
- ▶ DCサーボモジュール
- ▶ 産業用ロボットモジュール
- ▶ 産業ロボット用関節モジュール
- ▶ リニアアクチュエータ



ロボット用精密減速機



ACサーボモーター (S-FLAG II)



DCサーボモジュール

各製品については、「ニデックグループ総合製品カタログ」  
<https://www.nidec.com/jp/product/catalog/> をご覧ください。



ニデック新川崎テクノロジーセンター



ニデックけいはんなテクノロジーセンター



ニデックベトナム株式会社技術開発センター



ニデックモータ(大連)有限公司技術開発センター



尼得科(蘇州)有限公司技術開発センター

## 未来を創る研究開発

研究開発(R&D)における私たちの基本理念は“企業の成長エンジンを次々と生み出すこと”です。企業が100年を超えて永続的に成長するためには、将来のマーケットを見据え、世界No.1の技術を活かした製品を絶え間なく世の中に供給し続ける必要があります。このため、R&DのR(研究)は、ニデック新川崎テクノロジーセンター、および台湾の研究所で、未来を拓く基礎研究や新しい応用研究を推進しています。また、ニデックけいはんなテクノロジーセンターでは、革新的なものづくりを支える生産技術の研究開発に取り組んでいます。一方、D(開発)は、当社およびグループ会社の国内開発拠点やグローバルに展開する海外工場の開発拠点で、顧客に密着した開発を研究所と連携して推進しています。

現在、世界は気候変動への対応やエネルギー問題といった喫緊の課題に直面しており、こうした課題解決に貢献する技術革新が強く求められています。同時に、AI(人工知能)やロボティクスといった先進技術も目覚ましい発展を遂げ、産業構造や人々の生活様式は大きく変革する時代を迎えています。私たちは、このような時代の要請に応えるべく、当社のコア技術と最先端技術を融合し、持続可能な社会の実現に貢献する製品開発を加速させています。具体的には、温室効果ガスの削減に貢献する電動化製品、省エネルギーに貢献する高効率化製品、再生可能エネルギーシステムの普及に不可欠な製品、そして自動化・知能化された社会を支えるキーコンポーネントなどの開発に注力しています。

## Research & Development

# 世界最高レベルの研究開発体制



中央開発技術研究所

### ニデックグループ新拠点の建設構想について

ニデックグループ会社間の連携をより一層高めるため、当社の第二本社機能、グループ会社本社や技術開発センターなどを集約する新拠点の建設構想を策定しました。本社と近接する新拠点には、当社の規模拡大に伴い一部機能を移すとともに、ニデックドライブテクノロジーやニデックアドバンステクノロジーの本社移転も実施し、次の計画に着手しています。最終的には5千人体制を目指します。



本社

新拠点



真円度測定器



電波暗室



ICP-MS



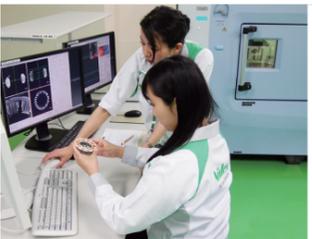
3D測定スキャナ



電界放出形走査電子顕微鏡



シミュレーション用スーパーコンピュータ



X線CTスキャナー



耐久試験機(ベンチ試験機)



業務フロア

### ニデックけいはんなテクノロジーセンター

ニデックけいはんなテクノロジーセンターは、ニデックグループの持続的な成長を加速し、未来の生産システムを構築するための中核拠点です。製品の品質・効率・生産性を最大化するため、革新的な生産プロセス、自動化技術、そしてAIを活用した製造システムの研究開発を進め、未来のスマートファクトリー実現に向けた基盤を構築します。また、高性能・高機能な材料開発をはじめ、シミュレーション技術、センサ、アクチュエーター、モジュール/システム化技術などの研究開発を大学や研究機関と連携して推進し、新商品や革新的な機能を生み出すための要素技術開発を行い、事業貢献を果たします。

### ニデック新川崎テクノロジーセンター

世界NO.1の総合電機メーカーにふさわしい、世界トップレベルのモータ研究・開発拠点として、日本及び台湾に拠点を構え、産業界・世界各国の大学・政府との連携を深め、持続可能な社会を実現する基礎研究や先端応用研究を進めています。One Nidecとして世界中の拠点を技術で繋ぎ、ニデックの将来を担う技術者を育成します。



ニデック新川崎テクノロジーセンター



ニデック製品技術研究所台湾センター



## Production and Quality Management

# 高品質・低コスト・ 短納期を実現



### 生産ラインは自社開発、重要部品は内製化推進

ユーザー企業の開発スピードに確実に対応し、高品質の製品を迅速に提供していくために、当社では生産ラインを自社で設計・開発しており、また、仕様変更にも素早く対応できる柔軟な生産ラインを確立しています。高付加価値製品を追求するため、国内事業所は研究開発機能中心の活動を行い、各製品分野別の「技術開発センター」では新製品の設計・開発のために量産ラインを想定した生産ラインを構築し、試作評価を行います。

製品やマーケットが拡大し続ける中で顧客や社会の期待に正しく応えていくためには、ものづくりの基本である品質を絶えず維持・向上していくことが不可欠です。このため、2023年1月には品質面でニデックグループ全体を横断的に管理・統括する組織としてグローバル品質統括本部を新設しました。さらに、2025年4月には当社として初めてCQO (Chief Quality Officer: 最高品質責任者) を任命し、ニデックグループ全社の品質保証部門の責任者を統括する体制を確立しています。品質面でのガバナンスを強化するとともに、情報共有によるシナジーを追求することで、ニデックグループ全体で更なる品質向上を進めていきます。



ニデックグループでは1994年、国内生産事業所でのISO9000シリーズの認証取得を皮切りに、現在国内、海外事業所を合わせて130拠点以上が同認証を取得するとともに、車載用モータの生産事業所・技術開発センターでは、約50拠点が「IATF16949」を取得しています。また、国内、海外事業所を合わせて120拠点以上が「ISO14001」の認証を取得し、さらに海外事業所約50拠点がISO45001 (労働安全衛生マネジメントシステム) の認証を取得しています。

小型モータ事業部では、2009年に化学試験分野の試験所として国際規格「ISO/IEC17025」の認定を取得し、分析依頼を受託しています。中央開発技術研究所では、2023年に航空宇宙産業向けの品質マネジメントシステム「AS9100」の認証を取得、継続しています。



# Nidec Sustainability サステナビリティへの取り組み

## ニデックのサステナビリティ

「社員」「会社」「製品」は互いを映し合う社会的な鏡。

これらを大切に磨き続け、地球社会が真に望む“ものづくり”を通じて自らの成長を紡いでいく。

それがニデックが描くサステナビリティの姿です。

私たちのサステナビリティは、社会に貢献できる製品や技術を誠実に作り出す事業活動、そして地域の将来を見据えた地域の一員としての活動から成り立ちます。「回るもの、動くもの」で地球社会に貢献し、豊かで未来ある社会を支えたい、私たちはそう考えています。



100年後もなくてはならぬ企業

持続可能な社会



## 製品による環境貢献

ニデックはエネルギー効率の高いブラシレスDCモータを世界にお届けすることにより、電力消費量の削減に貢献しています。また、再生可能エネルギーの信頼性を高めるソリューションとして、電力の安定供給を可能にするBESS (Battery Energy Storage System: バッテリーエネルギー貯蔵システム)を開発・提供しています。BESSはこれまでに世界規模のエネルギー供給会社に提供されており、稼働総容量は2024年に9GWhを超えました。



アメリカ・テキサス州における Lily Energy Storage Project

北欧に設置されている BESS コンテナの内部

ニデックグループは、事業を展開する世界各地の地域社会において、その将来を見据えた多様な活動に取り組んでいます。



■コミュニティ支援活動 (インド)  
NPOと協働して公立学校を修繕



■地域清掃活動 (中国)  
地域社会の一員として工場周辺を清掃



■医療支援活動 (アメリカ)  
NGOを通じてガン患者のために寄付



■コミュニティ支援活動 (メキシコ)  
子どもの日にちなんでお弁当やお菓子を寄付



■次世代育成活動 (日本)  
職場体験で中学生のキャリア学習を支援



■コミュニティ支援活動 (ハンガリー)  
地元のスポーツチームにユニフォームを寄贈



■環境保全活動 (インドネシア)  
マングローブの植林を実施



■災害被災者支援活動 (ブラジル)  
洪水被害を受けた地域へ物資を寄付

事業活動

地域の一員としての活動

三つの経営 基本理念

ニデックWEBサイトでサステナビリティ情報を公開しています。

ニデックサステナビリティ  
WEBサイト

<https://www.nidec.com/jp/sustainability/>

ニデック サステナビリティ 検索

社名	ニデック株式会社 (ブランド名/Nidec)
英文商号	NIDEC CORPORATION
代表者	代表取締役社長執行役員 (CEO) 岸田光哉
設立	1973年(昭和48年)7月23日
資本金	87,784,480,724円(2025年3月31日現在)
株式	東証プライム市場
事業内容	精密小型モータの開発・製造・販売 車載及び家電・商業・産業用モータの開発・製造・販売 機器装置の開発・製造・販売 電子・光学部品の開発・製造・販売 その他
本社	京都市南区久世殿城町338 〒601-8205 TEL 075-922-1111 FAX 075-935-6101 URL <a href="https://www.nidec.com/">https://www.nidec.com/</a>



本社

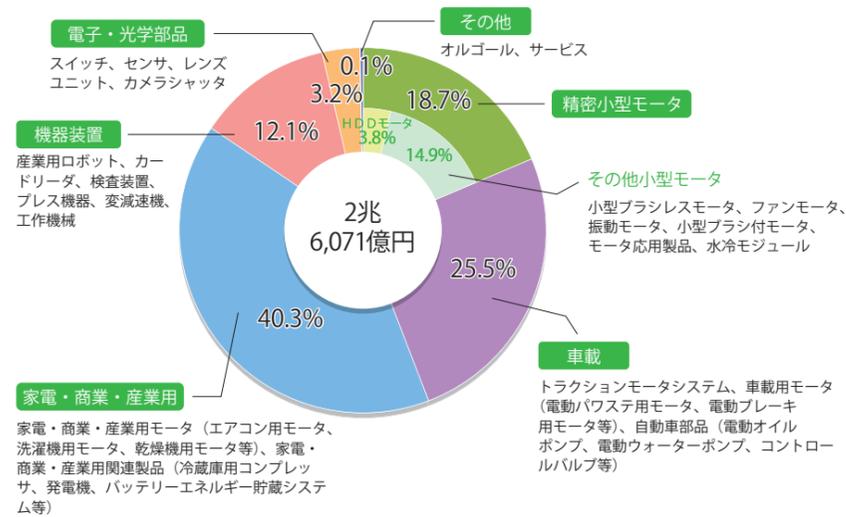


# Challenging for Global No.1

40か国以上、10万人以上のグループ従業員が日々挑戦し続け、「世界No.1の総合電機メーカー」を目指しています。



## 製品グループ別売上構成比 (2025年3月期)



## 売上高とグループ従業員推移

